

昭和二十八年五月十五日印刷（毎月一回発行）  
昭和二十八年五月十五日印刷（毎月一回発行）  
昭和二十八年五月十五日印刷（毎月一回発行）

# 哲 學 研 究



第三十六卷 第六册

第四百十六號

昭和二十八年五月二十日發行

中觀哲學の論理形態(完)  
.....  
梶山雄一

コーヘレスにおける智慧  
.....  
有賀鐵太郎

京 都 大 學 文 學 部 内  
京 都 哲 學 會

## 京都哲學會規約

- 一、本會は廣義における哲學の研究とその普及を圖ることを目的とする
- 一、右の目的のために次の事業を行う
- (一) 毎月一回研究会を開く
- (二) 毎年公開講演會を開く
- (三) 毎月一回「哲學研究」を發行する
- 一、本會の事業を遂行するために委員若干名をおく、委員は京都大學哲學科教官及び委員會において推薦した者に委囑する
- 一、本會は會員組織とし、會員には資格の制限を設けない、學校・圖書館・其他の團體は團體の名を以て入會することもできる
- 一、會員は會費として年八四〇圓、又は半年四二〇圓を前納する
- 一、會員は會誌の配布を受け、會誌に豫告する諸種の行事に出席することができる
- 一、本會は事務所を京都大學文學部内におく
- 一、本會規約の改正變更は委員會の決議による

## 京都哲學會役員

委員 有賀鐵太郎

井島勉

上野照夫

白井二尙

重澤俊郎

下程勇吉

島芳夫

園原太郎

高田三郎

武内義範

田中美知太郎

長尾雅人

西谷啓治

野田又夫

松尾義海

三村勉

矢田部達郎

## 註3

に不成であるか、直接的に不成であるかの相違である。一般には所依は有法と同義として用ひられてゐる。

観誓が燈論廣疏に於て關説してゐる(P. 103.a-104.b)所によれば、安慧(Shāhmā)は中觀釋論に於て、清辨の他因生否定の第二の論式を因相違であると非難した。大要は、「註釋家(清辨)の因の相は矛盾してゐる。何となれば眼等の諸内處の縁たる羯刺藍等を世俗的に認めながら、こゝに勝義的に羯刺藍等は縁ならず、他なる故に、糸等の如し、と論式を構成するがその時には勝義的に糸等は内處の縁でないと共に、それは世俗的にも内處の縁ではない。それと同様に、羯刺藍等も亦世俗的にも諸内處の縁ではないことになる。されば因の、他なるもの、といふことは、羯刺藍等は世俗に於て諸内處の縁ならず、と成立させることになるが、それは他でもあり、諸内處の縁でもあるとして有法としたことと矛盾するではないか」此の論駁は arhapatī-sama である。因相違として非難してゐるが、諸内處を有法としたことを難じてゐるから、當然因不成の難でもある。観誓は詳細に安慧を再批判してゐるが、今は直略する。正義第三十卷・百三十七・1 参照。但し漢譯は甚だ不明瞭である。安慧が清辨の燈論を批判してゐることは、從來清辨が安慧を繼承したと指摘せられて來たことに比較して十分に吟味されなくてはならない。

(筆者 京都大學人文科學研究所「佛教學」囑託)

## 前 號 目 次

發生的見地より見たる空間……………	岡原太郎
視知覺の問題……………	
——經驗效果の考察——	
中觀哲學の論理形態……………	梶山雄一

# 會 告

一、本會は會員組織とし會員には資格の制限を設けません、入會希望の方は京都市左京區田中西浦町弘文堂内京都哲學會係宛に規定の會費（年八四〇圓又は半年四二〇圓）をお拂込下さい

「振替口座京都一九五五六番 京都哲學會」

一、會費切れの場合は帶封に「前金切」の印を捺しますから直ちに御拂込下さい、一年分（又は半年分）會費は原則として本誌十二冊（又は六冊）の送附済を以て前金切れとし、會費の變更其他の事情による過不足は一年（又は半年）毎に精算します

一、會員の轉居入退會等（編集事務以外は一切）の事務は弘文堂内京都哲學會係へ御通知下さい

一、本誌の編集に關する通信・新刊書・寄贈雜誌等は本會宛にお送り下さい

## 京都哲學會

京都市左京區吉田  
京都大學文學部内

昭和二十八年五月十五日印刷  
昭和二十八年五月二十日發行

編集人

京都大學文學部内

右代表者

發行人

三村勉  
酒井明

印刷人

伊藤久春  
京都市田中西浦町四〇

印刷所

弘文堂印刷部  
京都市田中西浦町四〇

發行所

株式會社 弘文堂  
東京千代田神田駿河臺四ノ四

### 註文規定

一、會員以外の購讀者の御註文及び廣告に關する件は「弘文堂」へ御申込下さい

一、本誌の御註文はすべて代金郵税共（一部、定價七十四圓・郵税八圓）前金にてお送り下さい

一、特に請求書及び領收書等を要する場合は郵券八圓をお送り下さい

THE JOURNAL  
OF  
PHILOSOPHICAL STUDIES

THE TETSUGAKU KENKYU

---

---

Vol. XXXVI

May, 1953

No. 6

---

---

*The Wisdom of Qohelth* ..... Tetsutarô Ariga

*Various Forms of Logic in the Mādhyamika Philosophy*

—An analysis of *Bhāṣavyiveka's* logic compared  
with that of *Dignāga*, *Dharmakīrti* and some  
of the *Naiyāyikas*.....

Yūichi Kajiyama

Published Monthly

By

**THE KYOTO PHILOSOPHICAL SOCIETY**

(The Kyoto Tetsugaku-Kai)

Kyoto University

Kyoto, Japan

三十八年五月十五日印刷(毎月七号)